

## 図書館を含む複合施設に関する研究 図書館の複合化の現状と複合施設における配置計画の分析

### A study on the complex, buildings contained the library

#### Analysis of zoning plans in the complex buildings and the current state of the composite of the libraries

○三橋侑平<sup>1</sup>, 山中新太郎<sup>2</sup>

\*Yuhei Mitsuhashi<sup>1</sup>, Shintaro Yamanaka<sup>2</sup>

### 1. 序論

#### 1-1. 研究の背景と目的

今日、日本の公共施設は複合化されつつある。私たちの日常生活に根付いた公共図書館もそのうちの一つである。図書館を複合施設に含ませることで他施設との相互利用による施設の活性化が期待できる。図書館と他施設が一体的に利用されることでより魅力的な複合施設になるのではないだろうか。本研究では図書館を含む複合施設の現状把握、図書館と他施設の連携の可能性を考察することを目的とする。

#### 1-2. 研究の位置付け

丹羽一将らの研究<sup>1)</sup>では図書館を含む複合施設に対して人々が魅力を感じていると考察している。一方で吉川祐加らの研究<sup>2)</sup>では複合化している子ども図書館と複合施設の連携が上手く行われていないことを明らかにし、図書館が積極的に複合施設と連携していく必要があると指摘している。そこで、本研究は図書館と他施設における相互利用を重視し、それらの連携の可能性を考察するものとする。

#### 1-3. 研究対象

『新建築』（新建築社）1984年1月号～2015年4月号に掲載されている複合公共図書館を研究対象とする。複合公共図書館の基準はデータシートに記載されている用途が図書館と他用途施設1種類以上のものとし、用途の傾向を分析した後、その特徴が表れている作品について図面による詳細な分析を行うものとする。

## 2. 公共図書館の複合化に関する分析

### 2-1. 目的

複合公共図書館がどのような用途と複合・併設されている傾向にあるのかを明らかにする。『新建築』に掲載されている複合公共図書館61事例を対象に複合・併設されている用途を分析する（図1）。

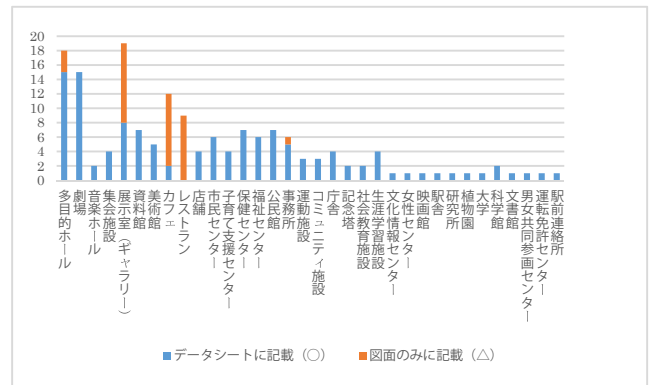


図1. 公共図書館と複合・併設する用途

### 2-2. 分析結果

複合・併設される傾向にある施設として、多目的ホールや劇場といった「ホール施設」、ギャラリーや資料館といった「展示施設」、カフェやレストランといった「商業施設」が挙げられる。「ホール施設」は複合施設の主要用途として多く用いられている。「展示施設」は1980年代～1990年代に資料館や美術館と複合されている事例が多く、2000年以降はギャラリースペースを併設している傾向がみられた。他の2施設に比べて複合用途としては減少傾向にある。「商業施設」はカフェやレストランがほとんどで、特に2010年以降増加傾向にある（図2）。「ホール

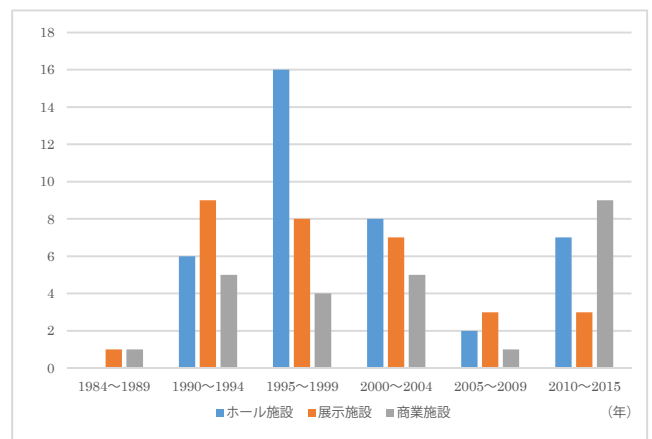


図2. ホール・展示・商業施設数の経年変化

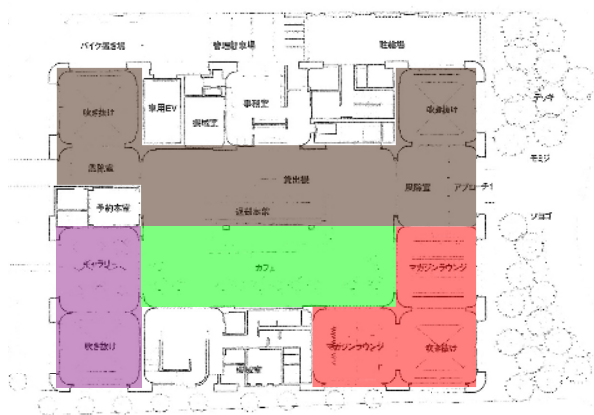
1：日大理工・学部・建築 2：日大理工・教員・建築

施設」,「展示施設」と異なり主要用途として記載されていたものは少なかったが,複合施設の一部として併設されている事例が多く,図書館と関連する重要な用途として考えられる。

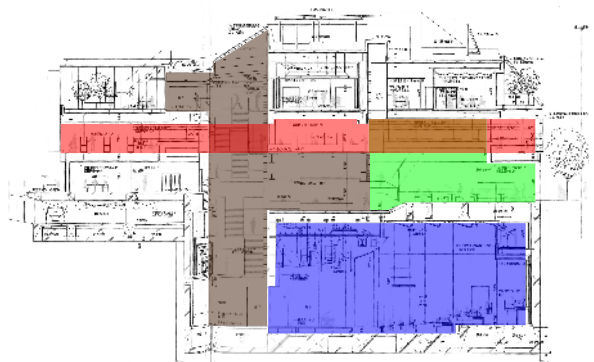
### 3. 公共図書館と他施設の配置計画に関する分析

#### 3-1. 目的

第 2 章で明らかになった図書館と複合・併設する用途の傾向を踏まえて平面図と断面図の着色による用途の配置を分析し,図書館との連携の可能性を考察する。対象図面は複合公共図書館 61 事例のうち近年増加傾向にある商業施設を含む 23 事例とする。



▲ 武蔵野プレイス 1階平面図



▲ 町田市鶴川緑の交流館 断面図

凡例 ■: 図書館 ■: 共用部 ■: 商業施設 ■: ホール施設 ■: 展示施設

図 3. 平面図・断面図による配置関係の分析

#### 3-2. 分析結果

図書館と他施設は共用部を介しての繋がりが多く,施設が空間的に連続しているものはほとんど見られなかった。図書館は複合施設のエントランスに隣接して配置される傾向にある。ホール施設の中でも劇場など特に大規模な空間を必要とするものはホワイエとエントランスを

介して他施設と繋がっている。敷地規模が大きくなると共用部が拡大し,図書館と離れた位置に配置されている傾向がある。展示施設について,高層の複合施設では上層階に配置されている事例が見られた。またエントランスに隣接して配置される事例も見られた。商業施設は1階に配置される傾向にあり,エントランスと隣接している事例も見られた。また,人々の滞在や交流を目的とした複合施設では,図書館とカフェを空間的に連続させ図書館と連携した利用が可能になっている事例も見られた(図 3)。

#### 3-3. 図書館と他施設の連携の考察

各施設の配置関係から複合施設における図書館と他施設の連携の可能性を考察する。ホール施設は共用部を介して図書館と繋がっているが,他の 2 施設に比べて図書館と離れた位置に配置される事例が多い。そのため現状の配置計画では図書館との連携を意図していないと考えられる。展示施設の中でギャラリーはエントランスに隣接している事例が多く,連携の可能性があると考えられる。商業施設もエントランスに隣接している事例が多く,エントランスを介して図書館と連携できる可能性があると考えられる。特にカフェは図書館と空間的に連続して連携を取れる配置関係にある事例もあり,今後さらに図書館との連携を強化できるのではないだろうか。

### 4. 結論

公共図書館と複合・併設される用途として,ホール施設,展示施設,商業施設が多い傾向にある。図面分析からそれぞれの施設は共用部を介しての繋がりがほとんどで,施設が空間的に連続しているものは少ないことがわかった。現状の複合施設では一つのエントランスを中心に各施設が配置されている傾向があるため,図書館と他施設の連携を積極的に行っていくためにはエントランス部分の使われ方が重要になると考えられる。今後の展望として,エントランスの利用実態を明らかにすることで図書館と他施設の連携に繋がると考えられる。また,連携の模範として図書館・カフェ・エントランスを一体とした複合施設が考えられるのではないだろうか。

### 5. 参考文献

- 1) 丹羽一将 中井孝幸『図書館のある複合施設における利用者意識に関する研究』日本建築学会大会学術講演梗概集(北海道)2013年8月
- 2) 吉川祐加 前田博子『全国の子ども図書館の複合化の実態 子ども図書館の複合化における特徴と課題に関する研究 その 1』日本建築学会大会学術講演梗概集(東海)2012年9月